

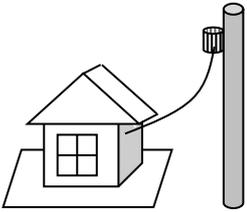
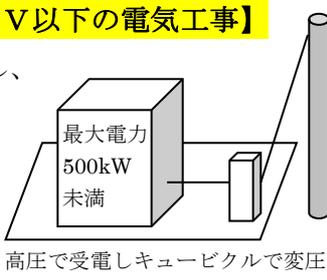
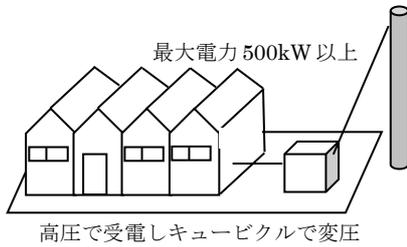
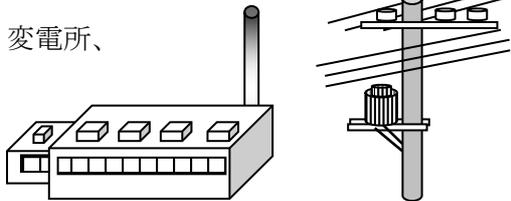
第一種電気工事士（試験合格者）のための実務経験証明書作成の手引き

1. 資格要件

第一種試験の合格者	電気工事の実務経験を <u>通算3年以上</u> 有する者 ※実務経験の通算方法については、単に会社等に所属した在籍期間ではなく、実務経験として算入できる工事だけを抽出し、通算した経験年数としてください。
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 実務経験の対象となる電気工作物

※実務経験として認められるのは必要な資格取得後の工事経歴

	実務経験の対象となる電気工作物	必要な資格	条件
	<p>【一般用電気工作物】</p> <p>電圧 600V以下で受電するもの。 (電柱から直接低圧で引き込んでいる建物) (例) 一般住宅、小規模な店舗、事業所など ※記載例1参照※</p> 	第二種電気工事士免状 旧電気工事士免状	登録(届出)電気工事士 電気工事業者に勤務し、施工し
自家用電気工作物	<p>【最大電力500kW未満の需要設備における電圧600V以下の電気工事】</p> <p>電気事業者から 600V 超えて受電し、最大電力が 500 kW 未満のもの。 (例) 小学校、小中規模ビル、公民館など ※記載例2参照※</p>  <p style="text-align: center;">高圧で受電しキュービクルで変圧</p>	認定電気工事従事者認定証 ※低圧部分であっても第二種電気工事士免状では工事できません。	
電気工作物	<p>【最大電力500kW以上の需要設備、発電所、変電所】</p> <p>電気事業者から 600V 超えて受電し、最大電力が 500 kW 以上のもの。 (例) 製鉄所、コンビナート、大型ショッピングセンターなど ※記載例3参照※</p>  <p style="text-align: center;">高圧で受電しキュービクルで変圧</p>	— ※電気主任技術者監督のもとでの作業	
	<p>【電気事業用電気工作物】</p> <p>主に電力会社の発電所、変電所、送電線路、配電線路など ※記載例4参照※</p> 	—	

3. 実務経験として認められない工事

* 法令違反の工事

① 無資格工事

- ・第二種電気工事士免状交付日以前に行った一般用電気工作物の工事
- ・認定電気工事従事者認定証交付日以前に行った最大電力 500kW 未満の自家用電気工作物の低圧電気工事
- ・所属する電気工事業者が電気工事業登録等を受けずに行った電気工事

② 無監督工事

- ・主任電気工事士の監督を受けずに行った一般用電気工作物の工事
- ・電気主任技術者の監督を受けずに行った自家用電気工作物の工事

* 軽微な工事

① 600V 以下で使用する接続器・開閉器にコードまたはキャブタイヤケーブルを接続する工事。

- ・接続器の例・・・差込接続器、ねじ込み接続器、ソケット、ローゼットなど
- ・開閉器の例・・・ナイフスイッチ、カットアウトスイッチ、スナップスイッチなど

② 600V 以下で使用する電気機器（配線器具を除く）・蓄電池の端子に電線（コード及びケーブルを含む）をねじ止めする工事。

③ 600V 以下で使用する電力量計・電流制限器・ヒューズを取付け、または取外す工事。

④ 電鈴、インターホン、火災感知器等の施設に使用する小型変圧器（二次電圧 36V 以下に限る）の二次側配線工事。

⑤ 電柱の設置・変更・撤去の工事。

⑥ 地中電線を布設する暗渠または管の設置・変更・撤去の工事。

* 特殊電気工事（最大電力 500kW 未満の需要設備におけるネオン工事及び非常用予備発電装置工事）

* 電圧 5 万 V 以上の架空電線路の工事

* 保安通信設備工事（電力会社の電気供給用電気工作物の保安維持を目的に使用される通信設備の工事）

* キュービクルや変圧器等の据え付けにともなう基礎工事

* 電気設備の設計または検査のみの業務で自ら施工しない場合

* 電気機器の製造業務

4. 証明者

* 証明者は、申請者が実務を積んだ勤務先の雇用主（代表者）です。なお、支店長、工場長等に証明行為が委任され、委任状が提出されている場合は、その者の証明でも可です。

* 2 社以上にまたがって経験年数を満たす場合は、それぞれの証明者の証明が必要です。（1 社につき実務経験証明書 1 枚）

* 証明者印は、屋号印（角印）ではなく、個人の場合は丸印（認印で可）、法人の場合は登記印（実印）を押印してください。

5. その他

※下記に該当する場合は、個別にお問い合わせください。

- * 第二種電気工事士免状取得後、家電販売業者での実務経験
 - ・・・200V未満の家電販売に付随する局所的な電気工事
- * 第二種電気工事士養成施設において、教員として担当する**実習**の実務経験
- * 勤務していた会社が倒産した等で証明がもらえない場合

記載例 1. 【一般用電気工作物に係る電気工事】

実務経験証明書

ふりがな	ふくやま じろう		昭和 〇年 〇月 〇日 平成
氏名	福山次郎		
現住所	〒721-〇〇〇〇 福山市引野町〇-〇 TEL (084) 943-〇〇〇〇		
現在の勤務先の名称及び所在地	名称	□ □ 工業 株式会社 TEL (084) 921-〇〇〇〇	
	所在地	〒720-〇〇〇〇 福山市東桜町〇-〇	
実務経験の期間及び内容			
所属部署及び役職名	期間	職務の内容	
〇〇産業(株) 〇〇営業所 工事課 〇〇担当 * 所属部署が無い場合には、「社員」「従業員」と記載	どちらかに☑を記入して下さい	<p>※実務経験の取得方法について次のいずれか該当するものに☑をしてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 実務経験として算入できる工事を日常的に従事して、通算3年以上の経験を取得した。</p> <p><input type="checkbox"/> 実務経験として算入できない他の業務にも従事していたが、実務経験として算入できる工事だけを通算すると3年以上の経験を取得している。</p> <p>上記、☑をした実務経験の内容について以下に記載してください。</p> <p>(平成〇年〇月〇日 第二種電気工事士免状取得)</p> <p>左欄の期間中、一般用電気工作物を対象とする電気工事に、作業者として従事しました。<u>工事件数は約〇〇件です</u>。(※実務経験期間内の総工事件数を必ず記載)</p> <p>工事内容としては、電灯コンセント設備工事、弱電設備工事、屋内配線工事、照明器具取付工事などを行いました。</p> <p>【近年の主な工事】</p> <p>(※正確な工事の期間と現場の所在地(町名まで)必ず記載)</p> <p>〇年〇月〇日～〇年〇月〇日 福山市〇〇町 〇〇邸(具体名記載)の屋内配線及び照明器具取り付け工事</p> <p>〇年〇月〇日～〇年〇月〇日 福山市〇〇町 〇〇邸の太陽電池発電設備設置に伴う電気工事(出力〇〇.〇kW) (※小出力発電装置の場合は出力を必ず記載)</p> <p>〇年〇月〇日～〇年〇月〇日 福山市〇〇町 〇〇邸の家庭用電気機械器具(具体名記載)の販売に付随して行った専用電源コンセント増設工事</p>	
	〇年 〇月 〇日 ～ 〇年 〇月 〇日		
勤務期間	〇年		
うち実務経験算入対象通算期間	〇年(3年以上必要です)		
<p>上記のとおり、実務経験を有することを証明します。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>所在地 福山市青葉台〇-〇</p> <p>法人名 〇〇産業株式会社</p> <p>代表者氏名 代表取締役 〇〇〇〇</p> <p>電気工事業登録又は届出番号 広島県登録(届出)第〇〇〇号</p>			

証明者は、上記の実務経験を積んだ業者の代表者(代表取締役等)となります(それ以外の証明者の場合は委任状が必要です)。法人名及び法人代表者の役職名及び氏名を記入し、登録をしている代表者印(丸印)を押印ください(社判(角印)ではありません)。

代表取締役印

※建設業許可番号ではありません

記載例 2. 【最大電力500kW未満の需要設備における電圧600V以下の電気工事】

実務経験証明書

ふりがな	ひろしま じろう		昭和
氏名	広島次郎		〇年 〇月 〇日 平成
現住所	〒730-〇〇〇〇 広島市西区〇町〇-〇 TEL (082) 248-〇〇〇〇		
現在の勤務先の名称及び所在地	名称	〇〇工業株式会社 TEL (082) 222-〇〇〇〇	
	所在地	〒721-〇〇〇〇 広島市西区〇-〇	
実務経験の期間及び内容			
所属部署及び役職名	期間	職務の内容	
〇〇産業(株) 〇〇営業所 工事課 〇〇担当 *所属部署が無い場合には、「社員」「従業員」と記載	<div style="border: 1px solid blue; padding: 2px;"> どちらかに☑を記入して下さい </div> 〇年 〇月 〇日 ~ 〇年 〇月 〇日	<p>※実務経験の取得方法について次のいずれか該当するものに☑をしてください。 <input type="checkbox"/>実務経験として算入できる工事を日常的に従事して、通算3年以上の経験を取得した。 <input type="checkbox"/>実務経験として算入できない他の業務にも従事していたが、実務経験として算入できる工事だけを通算すると3年以上の経験を取得している。</p> <p>上記、☑をした実務経験の内容について以下に記載してください。</p> <p>(平成〇年〇月〇日 認定電気工事従事者認定証 取得) 左欄の期間中、自家用電気工作物(最大電力500kW未満)を対象とする電圧600V以下の電気工事に、作業員として従事しました。<u>工事件数は約〇〇件です。</u>(※実務経験期間内の総工事件数を必ず記載)</p> <p>【近年の主な工事】 工事内容としては、電灯コンセント設備工事、弱電設備工事、屋内配線工事、照明器具取付工事などを行ないました。</p> <p>近年の主な工事としては、 (※正確な工事の期間と現場の所在地(町名まで)必ず記載) 〇年〇月〇日~〇年〇月〇日 広島市中区〇〇町 〇〇ビル(具体名記載)に係る屋内配線工事 〇年〇月〇日~〇年〇月〇日 広島市西区〇〇町 〇〇ショッピングセンター(具体名記載)に係る照明器具取り付け工事</p>	
勤務期間	〇年		
うち実務経験算入対象通算期間	〇年(3年以上必要です)		
上記のとおり、実務経験を有することを証明します。 平成 年 月 日 所在地 広島市西区〇-〇 法人名 〇〇産業株式会社 代表者氏名 代表取締役 〇〇〇〇 電気工事業登録又は届出番号 広島県登録(届出、通知)第〇〇〇号			

証明者は、上記の実務経験を積んだ業者の代表者(代表取締役等)となります(それ以外の証明者の場合は委任状が必要です)。法人名及び法人代表者の役職名及び氏名を記入し、登録をしている代表者印(丸印)を押印ください(社判(角印)ではありません)。



※建設業許可番号ではありません

記載例3. 【最大電力500kW以上の需要設備に係る電気工事】

実務経験証明書

ふりがな	ひろしま じろう		昭和
氏名	広島次郎		〇年 〇月 〇日 平成
現住所	〒730-〇〇〇〇 広島市西区〇町〇-〇 TEL (082) 248-〇〇〇〇		
現在の勤務先の名称及び所在地	名称	〇〇工業株式会社 TEL (082) 222-〇〇〇〇	
	所在地	〒721-〇〇〇〇 広島市西区〇-〇	
実務経験の期間及び内容			
所属部署及び役職名	期間	職務の内容	
〇〇産業(株) 〇〇営業所 工事課 〇〇担当 *所属部署が無い場合には、「社員」「従業員」と記載	どちらかに☑を記入して下さい 〇年 〇月 〇日 ～ 〇年 〇月 〇日 2～3件必ず記載	<p>※実務経験の取得方法について次のいずれか該当するものに☑をしてください。 <input type="checkbox"/>実務経験として算入できる工事を日常的に従事して、通算3年以上の経験を取得した。 <input type="checkbox"/>実務経験として算入できない他の業務にも従事していたが、実務経験として算入できる工事だけを通算すると3年以上の経験を取得している。</p> <p>上記、☑をした実務経験の内容について以下に記載してください。</p> <p>左欄の期間中、最大電力500kW以上の自家用電気工作物を対象とする電気工事に、電気主任技術者の監督のもとで、作業者として従事しました。 工事件数は約〇〇件です。(※実務経験期間内の総工事件数を必ず記載) 工事内容としては、〇〇工事、〇〇工事、〇〇工事などを行ないました。</p> <p>【近年の主な工事】 (※正確な工事の期間と現場の所在地(町名まで)必ず記載) 〇年〇月〇日～〇年〇月〇日 広島市中区〇〇町 〇〇工場(具体名記載)(最大電力〇〇kW(※正確な数値の最大電力を必ず記載))に係る屋内配線工事 〇年〇月〇日～〇年〇月〇日 広島市南区〇〇町 〇〇ビル(最大電力〇〇kW)の新設に伴う電気工事</p> <p>電気工事士法第3条に違反していないか確認するため、必ず正確な(契約)最大電力を記入してください。正確な最大電力の記載がない場合は受理できません。</p>	
勤務期間	〇年		
うち実務経験算入対象通算期間	〇年(3年以上必要です)		
<p>上記のとおり、実務経験を有することを証明します。 平成 年 月 日</p> <p>所在地 広島市西区〇-〇</p> <p>法人名 〇〇産業株式会社</p> <p>代表者氏名 代表取締役 〇 〇 〇 〇</p> <p>電気工事業登録又は届出番号</p>			

証明者は、上記の実務経験を積んだ業者の代表者(代表取締役等)となります(それ以外の証明者の場合は委任状が必要です)。法人名及び法人代表者の役職名及び氏名を記入し、登録をしている代表者印(丸印)を押印ください(社判(角印)ではありません)。

代表取締役印

記載例 4. 【電気事業用電気工作物に係る電気工事】

実務経験証明書

ふりがな	ひろしま じろう		昭和 〇年 〇月 〇日 平成
氏名	広島次郎		
現住所	〒730-〇〇〇〇 広島市西区〇町〇-〇 TEL (082) 248-〇〇〇〇		
現在の勤務先の名称及び所在地	名称	□ □ 工業 株式会社 TEL (082) 222-〇〇〇〇	
	所在地	〒721-〇〇〇〇 広島市西区〇-〇	
実務経験の期間及び内容			
所属部署及び役職名	期間	職務の内容	
〇〇産業(株) 〇〇営業所 工事課 〇〇担当 * 所属部署が無い場合には、「社員」「従業員」と記載	<div style="border: 1px solid blue; padding: 2px;"> どちらかに☑を記入して下さい </div> 〇年 〇月 〇日 ~ 〇年 〇月 〇日	<p style="color: red;">※実務経験の取得方法について次のいずれか該当するものに☑をしてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 実務経験として算入できる工事を日常的に従事して、通算 3 年以上の経験を取得した。</p> <p><input type="checkbox"/> 実務経験として算入できない他の業務にも従事していたが、実務経験として算入できる工事だけを通算すると 3 年以上の経験を取得している。</p> <p style="color: red;">上記、☑をした実務経験の内容について以下に記載してください。</p> <p>左欄の期間中、電気事業用電気工作物を対象とする電気工事に従事しました。工事件数は約〇〇件です。(※実務経験期間内の総工事件数を必ず記載)</p> <p>工事内容としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧架空電線の架設工事 (電圧 5 万ボルト未満) ・ 柱上変圧器、柱上開閉器の設置・取替及び接地工事 ・ 高圧地中ケーブルの布設・接続工事 ・ 発電所・変電所内電気設備の改修工事 などを行いました。 <p>【近年の主な工事】</p> <p>(※正確な工事の期間と現場の所在地 (町名まで) 必ず記載)</p> <p>〇年〇月〇日~〇年〇月〇日 〇〇市〇〇町 A 変電所 配電ケーブル取替え工事</p> <p>〇年〇月〇日~〇年〇月〇日 〇〇市〇〇町 高圧地中ケーブルの布設工事</p>	
勤務期間	〇 年		
うち実務経験算入対象通算期間	〇年 (3 年以上必要です)		
上記のとおり、実務経験を有することを証明します。 平成 年 月 日 所在地 広島市西区〇-〇 法人名 〇〇 産業 株式会社 代表者氏名 代表取締役 〇 〇 〇 〇 電気工事業登録又は届出番号			

電圧 5 万ボルト以上で使用される架空電線路に係る工事は、実務経験から除かれます。

証明者は、上記の実務経験を積んだ業者の代表者 (代表取締役等) となります (それ以外の証明者の場合は委任状が必要です)。法人名及び法人代表者の役職名及び氏名を記入し、登録をしている代表者印 (丸印) を押印ください (社判 (角印) ではありません)。

代表取締役印